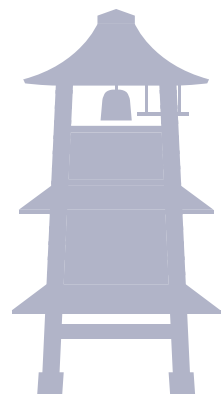


## 第2 分野横断的な取組

---



# 1 分野横断的な取組について

様々な社会変化に直面し、地域課題が多様化・複雑化する中において、政策分野ごとの取組だけでなく、分野横断的な取組が必要となる課題が多くあります。その中でも、市民生活への影響が特に大きく、市を挙げた取組が必要な課題と、その対応について以下で示します。

## (1) 分野横断で市を挙げた取組が必要な課題

---

### ア 少子高齢化・人口減少

少子高齢化の進展や本格的な人口減少の到来は、社会の様々な分野に影響を及ぼし、まちの活力低下につながることを懸念される大変重要な課題です。

本市においては、令和7（2025）年から令和32（2050）年までの25年間で、総人口が約3万5,000人、生産年齢人口が約4万3,000人減少する一方で、65歳以上の高齢者人口は約1万5,000人増加する推計となっています。

### イ 大規模自然災害

地球温暖化に起因する気候変動などにより、世界的に大規模な気象災害が多発する中で、豪雨災害の激甚化・頻発化は、多くの河川を有する本市にとって大きな脅威であり、過去にも平成29年台風第21号や令和元年東日本台風により大きな被害を受けています。

また、首都直下地震が今後30年以内に70%程度の確率で発生すると予測されているなど、災害に強いまちづくりは本市にとって喫緊の課題となっています。

## (2) 課題への対応

少子高齢化・人口減少と大規模自然災害への対応については、それぞれ「まち・ひと・しごと創生総合戦略」、「国土強靱化地域計画」において取組の方向性を示します。

### ア まち・ひと・しごと創生総合戦略

「まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、人口減少に歯止めをかけ、将来にわたって社会の活力を維持することを目指し策定する計画であり、少子高齢化・人口減少に対応するための分野横断的な取組の方向性を示します。

### イ 国土強靱化地域計画

「国土強靱化地域計画」は、自然災害において致命的な被害を負わない「強さ」と速やかに回復する「しなやかさ」を持った災害に強いまちづくりを進めるための計画であり、大規模自然災害に備えるための分野横断的な取組の方向性を示します。

